

年度 2009 学期 後期	曜日・校時	水 1	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	数理科学-推測統計入門/(Mathematical Science -Introduction to Inferential Statistics -)			
対象年次 1・2 年次	講義形態 講義	教室		
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類	自然科学科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:森保 洋 /Eメールアドレス:moriyasu@nagasaki-u.ac.jp /研究室:経済学部東南アジア研究所 313 号室 /オフィスアワー:木曜日 12:50~14:20 教官研究室。これ以外の時間については、事前に email でアポイントを取ること。				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 我々が調査を行うとき、調査したい対象すべて(これを母集団と呼ぶ)を調査できるとは限らない。このような場合、母集団の中から取り出した一部のデータ(標本と呼ぶ)から母集団の特徴を推論することになる。このように標本から母集団の特徴を推論する統計学を推測統計学と呼ぶ。本授業の目的は、推測統計学の基礎を学習し、区間推定・仮説検定の概念を理解することである。  授業方法: 講義を中心に行うが、授業中に演習を行う機会も設ける。  授業到達目標: 本授業を受講することにより、受講者は基礎的な区間推定・仮説検定が行えるようになる。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)  推測統計に必要な確率論の知識を習得した上で、母集団の平均の推定・検定方法について学習する。  第 1 回 イントロダクション・1 次元データの特性値の計算 第 2 回 2 次元データの特性値の計算 第 3 回 離散的確率変数と確率分布 第 4 回 連続的確率変数と密度関数 第 5 回 確率分布の特性値 第 6 回 確率変数の独立性と同一分布性 第 7 回 離散的な母集団分布 第 8 回 連続的な母集団分布 第 9 回 正規母集団からの標本分布(1) 第 10 回 正規母集団からの標本分布(2) 第 11 回 区間推定 第 12 回 母平均の仮説検定(1) 第 13 回 いろいろな仮説検定(1) 第 14 回 いろいろな仮説検定(2) 第 15 回 講義のまとめ				
キーワード				
教科書・教材・参考書	田中勝人『基礎コース統計学』新世社			
成績評価の方法・基準等	数回のレポートと最終試験で評価する。評価のウエイトはレポートが 50%、最終試験が 50%である。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ /学習・教育目標				
備考(準備学習等)				